

はじめに

平成5年度から4ヵ年計画で始まった文部省重点領域研究「総合的地域研究の手法確立—世界と地域の共存のパラダイムを求めて」（略称：総合的地域研究）の第3年度の成果報告書をまとめました。この重点領域研究においては、東南アジアに焦点を合わせながら、地域の内的な構造の解明を試みると同時に、「総合的地域研究」という枠組みの中で再検証し、さらに地域間研究の視点を導入して、地域の鳥瞰図を作成することを試みてきました。

総括班、6つの計画研究班、および14の公募研究班からなる研究組織をもってスタートしたこの重点研究は、第3年度には、公募研究班を13班として再組織して、研究を続けてきました。総括班を除く各研究班のこれまでの研究活動を、それぞれの研究代表者にまとめていただきました。

この重点領域研究の研究成果は、総括班および各計画研究班を中心に、まとめられていくこととなりますが、この過程で、公募班のこれまでの成果を随時、成果報告書シリーズのなかに収めて印刷公表していく予定です。研究活動の成果は、それに止まらず、独立した著書、学術論文のかたちでも発表されていますので、本報告書ではそれらに関する情報も、各班の活動記録にあわせて収録しております。

末尾になりましたが、メンバーおよび関係者各位の熱心なご参加に感謝いたしますとともに、最終ラウンドに向けての一層のご協力をお願いいたします。

1996年3月

文部省重点領域研究「総合的地域研究」総括班
領域代表者 坪内良博